

## 「ほっと」公開講座

### 災害時の備えの大切さを語る

心理臨床・福祉センター「ほっと」（永久ひさ子センター長）公開講座が10月15日、ふじみ野キャンパスで開かれました（後援＝ふじみ野市）。

談話スタッフの笹岡眞弓・人間学部人間福祉学科教授が講演。東日本大震災時に、高齢者や障がい者の避難がどのように行われたのかについて話しました。

「高齢者や障がい者がいる家庭の避難～こんなとき、どうしたらいいの？」をテーマに、同センター相

さらに、今後必ず来ると言われている関東圏での大地震に備えて、知っておくべき心強い行政の制度について



参加者の不安にこたえる笹岡教授

でも解説。自分の住む自治体のサービスや対応を知っておくこと、災害救助法などの災害に関する法律を知っておくことの大切さを力説しました。笹岡教授は震災後に現地へ入り、現在もなお支援活動を継続中。10月11日にふじみ野キャンパスで、13日には本郷キャンパスにおいても「被災地ボランティア報告会」を精力的に実施し、被災地の現況を伝え続けています。

参加者は真剣にメモを取り、「現在抱えている不安」など積極的に質問。それらに対して福祉の立場からアドバイスがあり、より身近で貴重な講座となりました。